

九州の下水道整備状況（令和6年度末）

汚水処理施設整備は汚水処理人口普及率が90.5%、汚水処理人口約1133万人

九州地方整備局は令和6年度末現在の下水道整備状況をまとめた。それによると、下水道処理人口普及率は前年度比0.5%増（69.8%）の70.3%、下水道処理人口は前年度比約1万人増（約880万人）の約881万人となった。汚水処理施設の整備状況は汚水処理人口普及率が90.5%（前年度比0.6%増）、汚水処理人口は約1133万人となった。

九州の特徴は、下水道処理人口普及率が全国（81.8%）に比べて11.5%低い70.3%。汚水処理人口普及率は全国（93.7%）に比べて3.2%低い90.5%。また、都市規模別に全国と比較した場合は、①人口50万人以上の都市では下水道の普及率が高い。②人口50万人未満の都市では下水道以外の汚水処理施設の普及率が高い状況となっている。

[九州の下水道整備状況（資料編）](#)